



一般社団法人 日中文化振興事業団

設立1周年記念 ～桜花爛漫、絆を更に強く、深く! in三田市～

日中友好コンサート

第2回

2021年4月3日(土)

開場 13:30 開演 14:00

三田市総合文化センター

郷の音ホール 小ホール

主催／一般社団法人 日中文化振興事業団

後援／三田市教育委員会



ごあいさつ



一般社団法人 日中文化振興事業団
代表理事

胡 金定(甲南大学教授)

ご来場の皆様、日頃より当事業団への格別のご協力、ご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2020年初春から、全世界において新型コロナウイルスのパンデミックにより、世界規模の国民が自粛生活を余儀なくされ、日常生活に多大な影響を受けているばかりではなく、多くの人の尊い命が日々失われている悲惨な状況にあり、社会全体に暗い影を落としています。当事業団も例外でなく、設立して以来予定の諸行事も中止せざるを得ない状況に置かれました。2020年10月に開催予定の「第二回日中友好コンサート」も延期し、本日(2021年4月3日)関係者のご理解ご協力を得まして実現する運びとなった次第でございます。

本日は、「第二回日中友好コンサート」の開催にあたり、コロナ感染防止対策を万全に取り組み実施して参ります。ご来場の皆様のご理解ご協力をお願い致すと共に、各演目をご一緒に楽しんで頂きたいと存じます。そして、少しでも明るい未来社会に勇気と希望を与えるべく、このひと時を共有して参りたいと願っております。

当事業団は日中両国の友好交流を促進していく目標を掲げて設立しました。活動として、日中文化交流を中心に、定期学習講座、講演会、交流会、イベント、コンサートなどを行っております。

今後の取り組みとして、幅広く有意な人材を糾合して、日本の地域創生、SDGsなどを通して、中国との人的な交流を図って参りたいと考えております。

具体的に、地域社会との連携に力を入れ、交流を推進すると同時に日本と中国の相互理解を深めていきます。コロナ感染が一日も早く収束することを願い、コロナ禍というピンチをチャンスに変えるべく全力で取り組んでまいります。

当事業団は新しい時代に相応しい日中平和の場、日中交流の場として、広く皆様に愛されるよう願ってやみません。

今後とも更なるご支援ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

お祝のことば



三田市長
森 哲男

一般社団法人日中文化振興事業団の創立一周年を心からお祝い申し上げます。

また、一周年記念コンサートを三田市総合文化センター「郷の音ホール」において盛大に開催いただきますこと心より感謝申し上げます。

さて、貴事業団におかれましては、一昨年、日本と中国の相互理解を深め活力ある地域社会づくりに貢献することを目的に設立され、両国の文化芸術の交流を中心に定期学習講座や講演会、交流会、イベント、コンサートなどを通じ、互いの文化を尊重し合う活動をされているとお聞きしております。

ご承知のとおり、全世界で猛威をふるう新型コロナウイルスの影響により、人々の移動が制限され、日中両国相互の訪問などによる文化交流が難しいなか、第2回「日中友好コンサート」が開催されることは、市民の文化芸術を推進している本市において非常に意義のあることだと思います。文化芸術は、人々の生活に潤いや感動をもたらし、さらにコロナ禍での生活に希望を与えるものと思っております。

本市では、音楽活動や絵画展示活動など市民の皆さまによる様々な文化芸術活動が三田市総合文化センター「郷の音ホール」を中心に展開され、市民自らが創る文化芸術が盛んに行われております。

市としても本コンサートを始め、市民の皆さまの文化芸術活動を幅広く支援してまいりますので今後ともよろしく願いいたします。

日中の文化交流を通して両国の相互理解がより一層深まることを期待するとともに、貴事業団の益々のご発展と皆さまのご健勝でのご活躍を心よりお祈りしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

お祝のことは



参議院議員

高橋 光男

設立一周年記念「第2回日中友好コンサート」のご開催、誠におめでとうございます。

尊敬する胡金定先生をはじめ、日中平和友好という崇高な目的のもと、日中文化振興事業に取り組んでおられる貴事業団の皆様に深甚の感謝と敬意を申し上げます。

3回もの緊急事態宣言が発令され、解除後、なおも続く厳しいコロナ禍の状況において、本コンサート開催を迎えるにあたり、どれほどのご苦勞があったことでしょうか。芸術、文化、スポーツなどあらゆる分野の交流行事やイベントが規模縮小や中止を余儀なくされ、それは現在も続いております。このような状況にあって、練習場所の確保すらできず、先の見えない不安な時間を過ごされることも多々あるかと存じます。それでもなお、日中友好の情熱の火を燃やし、コロナ禍という未曾有の困難に屈することなく、日々努力と準備を重ね本日を迎えられた関係者の皆様お一人お一人のご尽力に改めて敬意を表します。

新型コロナウイルスによって大きく社会が分断されました。私たちは家族、親戚、友人など大切な人との交流や地域友好の機会が大きく制限され、いまなお日常生活に大きな影響を受けています。

ワクチン接種が開始され、ようやく一筋の光が見えて参りましたが、収束の道のりはいまだ遠く、歩み始めたばかりです。このような状況において、日中友好コンサートが開催されるということは誠に深く大きな意義があることと思料します。音楽には人々に感動を与え、心を豊かにするのみならず、人々を結びつける力があります。そして、必ずや聴衆の皆様お一人お一人に希望の灯をともすことでしょう。

さらには本コンサートを通じて、地域の皆様の絆が結ばれるとともに、日中友好の紐帯もさらに強固なものとなることを信じてやみません。世界はポストコロナを見据え、大きな変動の時を迎えています。めまぐるしく変化する時代において、芸術、文化交流を推進される貴事業団の取り組みは、新しい時代の日中友好の場として一層大きな役割を果たされることと確信いたします。

結びに貴事業団の一層の発展と、コンサートの大成功をご祈念申し上げますとともに、関係者の皆様のご健康とご自愛をお祈り申し上げます。

プログラム

第1部 記念式典

13:30～

1. 開会の挨拶
2. ご来賓祝辞
三田市長 森 哲男氏
参議院議員 高橋 光男氏
3. 祝電披露
4. 講演
演題：コロナ禍後の日中関係
講師：胡 金定 教授
5. 書の実演
「桜之舞」 河原 玲青

～休憩～

第2部 記念コンサート

1. 二胡 翁 棋松
2. 口笛 もくまさあき
3. 詩吟 森 豊声
4. 演歌 松原 美穂
5. ギター & 歌 ちめいど(中越 雄介 / 雄大)
6. 京劇 秦 爽

出演者ご紹介



おきな きしろう
翁 棋松 (二胡)

1956年中国生まれ。幼少の時から、二胡教授の呉昌安(おじ)の下で、二胡とヴァイオリンを始める。その後、中国中央音楽院と上海音楽学院の教授陣

に二胡を師事。1988年に留学で来日し、言語もままならない状況で、苦しいアルバイト生活を経て、音楽関係の会社に就職。音楽活動を新たなる地で再開する。日本と中国を音楽で繋げたいという夢を持って、関西を中心にコンサートを行い続けた。さらに、OKINA音楽を設立し、中国楽器の学習者と演奏者をサポートする。その功績が認められ、関西テレビと新聞で紹介された。2010年、世界華僑模範名人に選ばれ、記念切手を中国で発行する。

演目：①二泉映月 ②草競馬 ③チャルダッシュ



もくまさあき (口笛)

昭和17年2月生まれ。大阪市出身・B型。49歳でサラリーマンの世界から「くちぶえふき」に転進しHITO-FUE(口笛)提唱者として口笛音楽を文化として

定着させるべく口笛普及活動に精力的に取り組んでいる。2000年4月に日本人として初めてアメリカの口笛世界大会(第27回)に出場し、上位入賞。関西を中心として口笛教室を数ヵ所開設し後進の指導をする。2007年は4月に第34回口笛世界大会(アメリカ)にチームジャパン8名を引率し子供部門・ティーンズ部門で世界チャンピオンを誕生させた。世界初「HITO-FUE(口笛)検定システム」を福井大学とNPO法人日本口笛音楽協会とで共同で実現する。

演目：①愛燦燦 ②上を向いて歩こう



もり じせい
森 聖声 (詩吟)

鷺声吟詠会会長

昭和22年 京都府生まれ
昭和41年 関西大学に入学
同年 詩吟を故塩谷鷺声先生に師事
現在 公益社団法人関西吟詩文化協会
鷺声吟詠会会長

資格 総師範

皇家学院詩吟教室の講師を務める

演目:①歌謡吟「青葉の笛」 ②詩吟「青葉の笛」

この詩は、源平合戦において、源義経のヒヨドリ越えの逆落として有名な、一ノ谷の合戦の一幕から、源氏方の熊谷直実(くまがいなおさね)と平敦盛(たいらのあつもり)の戦いを切り取ったものである。

直実が一騎打ちの末組み伏せたのが敵将 平敦盛。見れば我が子と同じ年頃で、まだあどけなさの残る若武者。殺すに忍びないとためらいつつも、是非もなしと首をはねたのである。敦盛17歳。そのとき、直実が目にしたのが、敦盛が腰に差していた一管の笛。この笛が、今日まで伝えられている「青葉の笛」である。そこで直実、昨日の戦い前夜のことを思い起こし、陣中に聞こえてきたあの美しい響きの笛の音色はこの若武者のものであったのかと思ひ至り、回顧の情に駆られるのである。

この物語は「敦盛悲話伝説」として今に語り継がれており、その後、直実は敦盛を弔うため出家したのである。



まつばら みほ
松原 美穂 (歌手)・司会

神戸市出身。アイドルグループ「くの一」として「恋ジブシー」でCDデビュー後、TV、映画、舞台の女優活動のほか、歌手、司会としても活動中。「鬼平犯科帳」

「剣客商売」「水戸黄門」などの時代劇ドラマや、「滝の白糸」「京舞」など新派の舞台等にも出演。シングルCD「みほの夢」「治してあげる」リリース。2015年より、ラジオ関西「流行歌を訪ねて」パーソナリティーとして出演中。

「治してあげる」令和元年8月28日発売。
疲れた心を癒したい、あなたの悩みを私にも分けてほしい、という曲です。

演目:①治してあげる ②あなたのかげら



ちめいど (ギター&歌&作詞作曲)
なかよしゆうすけ たかひろ
中越雄介・雄大

兵庫県伊丹生まれ丹波篠山育ちの兄弟メッセージデュオ。2006年フジテレビめざましどようび主題歌国オーディ

ション優勝によりWarner Music Japan からメジャーデビュー。

生きることの素晴らしさ、生命の大切さ、人生の応援歌を歌うそのスタイル・メッセージ性から、学校や地域からの出演依頼も多く、人権学習としての講演、また多分野にわたるテーマソング作成や、教材CDへの楽曲提供を行うなど、今、教育分野からの期待も熱い二人。人権講演会の講師、平和学習としての地域コンサートなどの依頼が始まったのは、ある先生からの言葉。道徳授業への出演依頼からだった。「ちめいどの歌は、目の前で歌ってもらうだけで人権講演になるんです」

演目:①メロディ(玉置浩二カバー) ②赤いふく

③逢たくて〜今〜 ④やさしい風の吹くまち ⑤トーク



しん そう
秦 爽 (京劇)

- ・関西大学大学院文学部博士課程修了 文学博士
- ・『富岡鉄斎における「中国」——「伝統と創造」そして「美術と自然」』で文学博士を取得
- ・大阪府教育委員会教育サポーター
- ・大阪市生涯学習センターインストラクター
- ・甲南大学中国語講師

秦皇閣:芸術文化サロン主宰秦皇閣では日中落語をはじめ、二胡や三味線、茶道や華道、文楽や京劇などのイベントを企画・実施している。店内では日本と中国の工芸品を販売しながらも、中国茶喫茶と中国語、書道、水墨画などの講座を同時に開設している。

演目:牡丹亭

高官の家柄に生まれた杜麗娘は16歳、美しい少女でしたが、両親からは家の裏庭にさえ出ることが許されない厳しいしつけを受けていました。

ある日両親の留守にいつもいっしょにすごしている侍女から庭に出ようとそそのかされます。裏庭は春まっさかり、鳥がさえずり、花が咲き乱れています。

「世界はこんなにも美しい…それなのに私は家に閉じ込められている…」

そんな思いのままうつらうつらしていると夢の中に一人の若者が現れ、二人は楽しい時を過ごすのでした。杜麗娘は目から覚めてもこの若者のことが忘れられません。やがて病気になり亡くなってしまうのですが、亡くなる前に美しい自画像を遺します。

その頃科挙の試験合格を目指す一人の若者が旅に出ます。旅の途中で杜麗娘の家庭教師に出会い、「梅花観」という廟で旅の疲れをいやすこととなります。そしてその廟の周りを散歩していた時

築山の下で一幅の絵を拾うのです。その絵には一人の美女が描かれていました。この若者こそ杜麗娘の夢に出てきた柳夢梅でした。柳夢梅は朝に晩にこの美女の絵を見ては声をかけていましたが、ある日この絵の美女が彼の前に現れます。杜麗娘の亡霊でした。柳夢梅は亡霊とも知らずこの美しい女性と楽しい時を過ごします。そしてある日結婚を申し込むのです。すると亡霊は自分の生前の名、杜麗娘を名乗り自分は実は亡霊なのだと言います。驚く柳夢梅に杜麗娘の亡霊は、私は生き返ることができ、梅の木の下で土饅頭を掘り、棺を開ければ、生きていた時の姿のまま会えることができると言うのです。

言われるままに柳夢梅は梅の木の下で土饅頭を掘り返し、棺を開けます。するとそこからは良い香りがし、美しい杜麗娘が起き上がるのでした。

こうして杜麗娘は柳夢梅と結婚をし、思いを遂げることができたのでした。

老莊思想（ろうそうしそう）について

「老莊思想」は2500年前の中国戦国時代に生まれた思想の一つ。老子と莊子という人物の思想は類似性があり、二つの思想を合せた学説。一般には、道家思想と同義に用いる。

老子と莊子は、ともに無為を尊び、道（TAO）を理想とする点で共通しているが、その考え方ははっきりした違いが見られる。

老子は無為を政治や処世や保身の術として説き、現実的で功利的な傾向が強くて世俗的な成功主義も視野のなかにあるのに対して、莊子は形而上学的思弁や虚静無為の心境、また現実や礼法にとらわれない自由な生き方を説き、内省的で超俗的な色彩が濃く、現実を超え出る宗教的解脱の境地がある。

その特徴は、いかに個人が自由に生きるかを考えた思想。「～すべき」といった常識に囚われたものではなく、自然のリズムに合わせて無理せず生きることこそ最上であるという生き方の哲学である。

時流に流されず、超然として心穏やかに自由に生きることを説いた老莊思想は、私たち現代人にも多くの示唆を与えてくれる。特に、真面目過ぎて社会の中でどこか生きにくさを感じている人たちにとっては救いとなりうる思想と言われている。

俗に「上り坂の儒家、下り坂の老莊」などとも言われている。つまり、「成功を目指して登っていこうと思うなら儒家の思想が適していて、少し力を抜いて穏やかに生きていきたいと思うなら老莊思想が合っている」といった意味である。

古代中国が生んだ老子と莊子は今日に至るまで中国を代表する哲学者である。老莊思想は中国文化の発展に大きな業績を残したばかりではなく、日本にも伝わり、日本のことわざに影響を与え、現在も広く使われている。代表的ものを取り上げ、哲人から人生訓を学んでいこう。

老子のことわざ

【有無相生】（うむそうせい）

有があるから無があり、無があるから有があるという、有と無の相対的な関係のこと。または、この世のものはすべて相対的な関係にあるということ。

【小国寡民】（しょうこくかみん）

国の領土が狭く、人口が少ないこと。

【知足不辱】（ちそくふじょく）

自分の境遇にあったところで満足すれば、辱めを受けることはないという意味。分をこえた欲求を戒めた言葉。

【大器晩成】（たいきばんせい）

偉大な人は大成するのが遅く、歳をとってから頭角を現すようになるということ。また、才能があるにもかかわらず報われていない人を同情するとき用いる言葉。

【天長地久】（てんちょうちゅう）

物事が終わることなくいつまでも続くこと

【天網恢恢】（てんもうかいがい）

天が張りめぐらした網は広く、目が粗いようだが、悪人・悪事は決して取り逃がさないということ。天道は厳正であり、悪は早晚罰を受けるということで、悪事を戒める言葉。

【被褐懷玉】(ひかつんいぎょく)

すぐれた才能を持っているが、表面には出さないこと。

【無為自然】(むいしぜん)

人の手を加えずにあるがままにまかせること。

【無用之用】(むようのよう)

一目見た時は役に立たないと思っていたものが、重要な働きをすること。

【和光同塵】(わこうどうじん)

俗世で目立たないように、才能や徳を隠して暮らすこと。

荘子のことわざ

【万物斉同】(ばんぶつせいどう)

人の認識は善悪・是非・美醜・生死など、相対的概念で成り立っているが、これを超越した絶対の無の境地に立てば、対立と差別は消滅し、すべてのものは同じであるとする説。

【大同小異】(だいどうしょうい)

だいたい同じだが、細かい点に違いのあること。似たりよったり。大差のないこと。

【明鏡止水】(めいきょうしすい)

明鏡止水とは、邪念ややこしいことがなく、落ち着き払っているという意味のこと。

【槁木死灰】(こうぼくしかい)

肉体的にも精神的にも衰えて、活力がまったくない様子。または、無心の境地のこと。

【吐故納新】(とこのうしん)

昔からあるものを捨てて、新しいものを取り入れること。

【沈魚落雁】(ちんぎょらくがん)

魚や雁も圧倒されるほどの美人。すぐれてあでやかな美人の形容に用いる語。

【朝三暮四】(ちょうさんぼし)

目先の違いにとらわれて、結局は同じ結果であることを理解しないこと。また、言葉巧みに人を欺くこと。転じて、変わりやすく一定しないことや生計の意味でも使われる。

【輶鮒之急】(てっぶのきゅう)

危険や困難が迫っていることのたとえ。また、切迫した状況にある人のたとえ。

【胡蝶の夢】(こちょうのゆめ)

自分とものとの区別がなくなって、全てのものが一つのものとする万物一体の境地のこと。または、人の生がはかないことのたとえ。または、夢と現実の境がはっきりと区別できなくなること。

【螳螂の斧】(とうろうのおの)

螳螂の斧とは、力のない者が、自分の実力もかえりみずに強い者に立ち向かうことのたとえ。